開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	1年	1	選択
担当教員			
金 弘錫			
G (現代ビジネス学科)	L (基礎科目)	LG (語学・言語学)	109 (基礎・入門科目)

授業のねらい (概要)	本授業は始めて韓国語教育を受ける学習者を対象に、基礎韓国語教育を通じて韓国語と韓国の文化についての知識の習得や教養を深め、言語の表現と地域社会に貢献できる能力を身に付けることが目的である。そこで、本授業では各種メディアを活用し、初級会話に必要な発音や文法及び基本語彙を定礎すると同時に簡単な文型などを学ぶこととする。
授業計画	<p>第1回 ハングルについて／韓国語の系統と特徴、ハンガルの仕組み 予習 (時間)：韓国語の仕組みと韓国語の系統と特徴、仕組みなどを調べてみる (120分)。 復習 (時間)：韓国語の仕組み、ハングル文字の成り立ちを復習する (120分)。</p> <p>第2回 子音Ⅰ／基本子音字14文字 予習 (時間)：基本反切表の子音字14文字を予習すること (120分)。 復習 (時間)：基本子音字14文字と基本のあいさつ言葉を復習すること (120分)。</p> <p>第3回 子音Ⅱ／合成子音字5文字 予習 (時間)：合成子音字5文字 (濃音) の発音練習と書き順を調べる (120分)。 復習 (時間)：濃音の発音・書き順と副教材の会話応用1ページを覚えること (120分)。</p> <p>第4回 母音Ⅰ (基本母音)／基本母音字10文字 予習 (時間)：反切表の基本母音字の10文字の発音と書き順を練習する (120分)。 復習 (時間)：反切表の基本母音字10文字の組み合わせを理解し、書き順と発音を覚えること (120分)。</p> <p>第5回 母音Ⅱ (合成母音)／合成母音字11文字 予習 (時間)：合成母音 (複合母音)11文字の発音・書き順と副教材の会話応用2ページを練習する (120分)。 復習 (時間)：合成母音 (複合母音)11文字の発音・書き順と副教材の会話応用2ページを覚えること (120分)。</p> <p>第6回 文字と発音Ⅰ／子音字+母音字の組み合わせの理解と書き方 予習 (時間)：子音字と母音字の組み合わせその構造を把握してみる (120分)。 復習 (時間)：副教材11ページから12ページまでの単語を練習する (120分)。</p> <p>第7回 文字と発音Ⅱ／子音字+母音字の組み合わせの理解と書き方 予習 (時間)：副教材13ページから14ページまで発音を練習すること (120分)。 復習 (時間)：副教材13ページから14ページまでの単語を覚える (120分)。</p> <p>第8回 文字と発音Ⅲ／子音字+母音字の組み合わせの理解と書き方 予習 (時間)：副教材15ページから17ページの単語と教材第1課の会話文の発音を練習すること (120分)。 復習 (時間)：副教材15ページから17ページの単語と教材第1課の会話文を覚える (120分)。</p> <p>第9回 体言語尾・指定詞・存在詞の発音と書き方の練習 予習 (時間)：教材第2課を予習すること (120分)。 復習 (時間)：教材第2課の練習問題を復習すること (120分)。</p> <p>第10回 体言語尾・動詞・形容詞・否定の副詞の練習 予習 (時間)：教材第3課の単語と練習問題を予習すること (120分)。 復習 (時間)：教材第3課の単語と練習問題を復習すること (120分)。</p> <p>第11回 指示代名詞と疑問詞・指定詞の中称形、漢字語数詞の練習 予習 (時間)：教材第4課の練習問題を予習すること (120分)。 復習 (時間)：教材第5課の練習問題を復習すること (120分)。</p> <p>第12回 語幹Ⅰ／意志の接尾辞・願望形・進行形・否定形・逆説の練習 予習 (時間)：教材第6課の会話練習3を予習すること。(120分) 復習 (時間)：教材第6課の会話練習3を復習すること。(120分)</p> <p>第13回 語幹Ⅱ／可能・不可能形・尊敬語・勧誘形・命令形・理由の練習 予習 (時間)：教材第7課の会話練習3を予習すること (120分)。 復習 (時間)：教材第7課の会話練習3を復習すること (120分)。</p> <p>第14回 連体形の練習／形容詞の現在連体形と動詞の現在連体形・動詞の過去連体形・動詞の未来連体形 予習 (時間)：教材第8課の文章と会話練習1を練習すること (120分)。 復習 (時間)：教材第8課の文章と会話練習1を復習すること (120分)。</p> <p>第15回 語幹Ⅲ／変格活用用言 予習 (時間)：教材第9課と第10課の会話文2を予習すること (120分)。 復習 (時間)：教材第9課と第10課の会話文2を復習すること (120分)。</p>
授業を通して身に付けることができる能力 (DP)	学んだことを発信できる能力と地域社会に貢献できる能力を身に付けることができる。
到達目標	①母音字と子音字の発音と書き方を覚え、ある程度の単語を表現できるよう学習する。②ハンガルの文法や基本表現を学習し、基本的な対話を理解する。③基本会話文の練習を通じて表現力を広げる。
課題や小テスト等のフィードバックの方法	提出課題については、修正点・注意点などを赤字で記入の上、返却する。
履修上の注意	韓国語Ⅰを履修することが望まれる。なお、講義中、私語により他の受講者に迷惑をかけるものは退室させ

	ることもあるので注意すること。特に、欠席（公欠含む）5回で履修放棄とみなす。
成績評価の方法・基準	定期試験（40％）、授業内で行う小テスト（30％）、学修意欲（30％）の割合で評価する。
教科書	話せる！初級韓国語 ISBN番号：978-4-255-55641-3 著者名：黄聖媛・黄？媛 出版社：朝日出版社 発行年：2016年 価格：2400円
参考書・教材	
備考	演習科目
教員との連絡方法	Mellyまたはオフィスアワー